※令和４年度以降入学生用

学校番号	3033

令和５年度　学探究科

教科	学探究	科目	(学)課題研究Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	課題研究メソッド 2nd edition　（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では，学習者が自身の興味関心に合わせてテーマを選び，まだ解明されていない疑問や解決されていない課題を見出すところから授業が始まります。次いで，「探究の過程」と呼ばれる手法により，疑問を解明したりや課題を解決していきます。そして，最終的にプレゼンテーションや論文などで研究内容を発表したり，議論を行ったりします。

とにもかくにも情報を多面的に収集することが重要です。また，自問自答を何度も何度も繰り返し，批判的に自らの考えを捉え，深めていくことが重要です。そして，チームでの探究活動になるので，チームの人と分業をしっかり行うことも重要です。

2　学習の到達目標

＜知識・技能＞
・自問自答を繰り返し，研究や自分自身の資質・能力の伸びしろを見出す。
・テーマを自分ごととして捉え，何のために進むのかを認識した上で進む。
・自らの手で学びの計画を立てる。
・伸びしろを詰め，研究の深まりや自らの成長を楽しむ。
＜思考・判断・表現＞
・「同じチームのメンバー」「協力してくれる大人」「応援してくれる人々」など，利害が一致する目の前にいる人たちとの関わりから学ぶ。
・チーム内の役割を自ら，もしくは対話の中で見出し，役割を果たす。
・自分がチームに貢献していることに気づき，他者の貢献も認める。
＜主体的に学習に取り組む態度＞
・既存の知識をありがたく，そして，正しく使わせてもらう。
・事実を正しく認識し，自らの考えを上乗せして答えを見出す。
・未知を既知にしていく過程を楽しむ。
・オリジナリティを他者に表明する。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文献調査やインタビューなどで，既存の知見を獲得する。 研究活動内で獲得した知見を正しく活用する。 研究活動内で正しい所作に基づいた調査，実験を立案し，実施する。 要旨の執筆やプレゼンテーションなどで，確かな文章表現，表や図など描画表現を用いる。	要旨の執筆やプレゼンテーションなどを通じて，自らの考えのオリジナリティを他者に表明する。 探究活動でのディスカッションを通じ，チーム内の役割を自ら，もしくは対話の中で見出し，役割を果たす。 学期ごとや学年末のチームでの振り返りを通じ，自分がチームに貢献していることに気づき，他者の貢献も認める。	自問自答を繰り返し，研究や自分自身の資質・能力の伸びしろを見出す。 テーマを自分ごととして捉え，何のために進むのかを認識した上で進む。 自らの手で学びの計画を立てる。 伸びしろを詰め，研究の深まりや自らの成長を楽しむ。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	調査課題の設定	文献調査 調査課題設定 三角ロジックの演習	a:文献調査などを通じて既存の知見を獲得している。 予備調査や予備実験を行い，検証技術を高めている。 b: 三角ロジックに基づいて，調査課題が確かな課題であることを説明している。 自らの考えのオリジナリティを追求する。 c:自ら進んで家庭学習課題に取り組んでいる。 スケジュール管理を行いながら研究を進めている。	各種提出物	異学年交流会の要旨	家庭学習課題の実施状況

※令和４年度以降入学生用

	仮説の設定	予備調査・予備実験	a:文献調査などを通じて既存の知見を深めている。 正しい所作によって，予備実験や予備アンケートなどを実施している。 b:文献調査，予備実験，予備アンケートの結果を踏まえて，オリジナリティのある仮説を設定している。 c: 自ら進んで家庭学習課題に取り組んでいる。 チームでスケジュール管理を行いながら研究を進めている。	各種 提出物	各種 提出物	家庭学習課題の実施状況 授業中のディスカッション
2学期	中間発表	中間発表	a:ICT 機器を正しく活用し，要旨やプレゼンテーションスライドを作成している。 b:他者の発表を批判的思考を働かせて聞き，質疑応答に参加している。 c:プレゼンテーションを謙虚に振り返り，自らの技術的な課題を見出して改善しようとしている。	各種 提出物	各種 提出物	振り返りシート
	仮説の検証	データ収集 仮説検証	a:文献調査などを通じて既存の知見を深めている。 正しい所作によって，実験やアンケートなどを実施している。 b:得られた結果をもとに自らの立てた仮説が正しいのかを三角ロジックを活用しながら，検証している。 c:自ら進んで家庭学習課題に取り組んでいる。 チームでスケジュール管理を行いながら研究を進めている。 得られた答えから，新たな問いや課題を見出し，それに向かう。	各種 提出物	各種 提出物	家庭学習課題の実施状況 授業中のディスカッション

※令和４年度以降入学生用

3学期		最終発表	a:ICT 機器を正しく活用し，要旨やプレゼンテーションスライドを作成している。 b:他者の発表を批判的思考を働かせて聞き，質疑応答に参加している。 c:プレゼンテーションを謙虚に振り返り，自らの技術的な課題を見出して改善しようとしている。	各種提出物	各種提出物	振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度